

# 第39回 和漢医薬学会学術大会

THE 39<sup>TH</sup> CONGRESS OF THE JAPAN SOCIETY OF MEDICAL  
AND PHARMACEUTICAL SCIENCES FOR TRADITIONAL MEDICINE



## 要旨集

大会テーマ **鬼に克つ** ~COVID-19に対する漢方治療~

会期

2022年  
**8/27<sup>土</sup>・28<sup>日</sup>**

[オンデマンド配信:9月11日(日)まで]

開催形式

**Web開催**

大会長

**矢久保 修嗣**

(明治薬科大学臨床漢方研究室)





# 和漢医薬学会

Japan Society of Medical and Pharmaceutical Sciences for Traditional Medicine

## 第39回 和漢医薬学会学術大会 要旨集

会 期：2022年8月27日（土）・28日（日）  
開 催 形 式：Web開催  
大 会 長：矢久保 修嗣 明治薬科大学臨床漢方研究室  
主 催：一般社団法人和漢医薬学会  
後 援：一般社団法人日本東洋医学会  
公益財団法人日本薬剤師研修センター  
東亜医学協会  
学校法人明治薬科大学  
明治薬科大学同窓会（明薬会）

# 日程表

ライブ配信 (Zoom) → **Z**  
 後日オンデマンド配信 → **オ**  
 薬剤師研修単位対象 → **薬**

8月27日(土)	
Web会場	
8:30	
9:00	
	9:15~ 開会式・大会長挨拶
9:20~10:50	<b>Z</b> <b>オ</b> <b>薬</b> シンポジウム1 「和漢薬による免疫調節」 オーガナイザー：磯濱 洋一郎、早川 芳弘 演者：早川 芳弘、遠藤 真理、藤坂 志帆、磯濱 洋一郎
10:00	
11:00	11:00~12:00 <b>Z</b> <b>オ</b> <b>薬</b> 特別講演 「漢方製剤に配合される生薬の効能についての標準化案の提示」 座長：野上 達也 演者：牧野 利明
12:00	
13:00	13:00~15:00 <b>Z</b> <b>オ</b> スポンサード・シンポジウム オーガナイザー：磯濱 洋一郎 演者：浅井 一久、大澤 匡弘 共催：クラシエ薬品株式会社
14:00	
15:00	
15:20~17:20	<b>Z</b> <b>薬</b> Special Symposium 「Kampo Medicine for COVID-19 Prevention, Treatment, and Recovery in Clinical and Pharmacological Aspects」 Coordinator : Shin Takayama Chair : Shin Takayama, Takao Namiki Speaker : Takashi Ito, Toshiaki Makino, Ryutarō Arita, Takao Namiki, Hiroshi Odaguchi, Shin Takayama [English Session]
16:00	
17:00	
18:00	

8月28日(日)	
Web会場	
8:30	
9:00	
9:20~10:50	<b>Z</b> <b>オ</b> <b>薬</b> 次世代を担う若手研究者の会シンポジウム 「ポスト・コロナ時代を超越する若手研究者の力」 オーガナイザー：今 理紗子、伊藤 直樹 演者：松尾 侑希子、小池 佑果、前田 絢子
10:00	
11:00	11:00~12:00 <b>Z</b> スポンサード・セミナー 「呼吸器領域における漢方の役割 ～麦門冬湯と補中益気湯を中心に～」 座長：鈴木 朋子 演者：濱田 泰伸 共催：株式会社ツムラ
12:00	
13:00	13:00~16:00 <b>Z</b> <b>オ</b> <b>薬</b> シンポジウム2 「新型コロナウイルス感染症における漢方の応用 —薬理、臨床、研究、経済の観点から—」 オーガナイザー：高山 真、並木 隆雄 はじめに：伊藤 隆 ビデオメッセージ：忽那 賢志 演者：有田 龍太郎、牧野 利明、並木 隆雄、小田口 浩、入江 康仁、青松 直樹、高山 真、赤瀬 朋秀
14:00	
15:00	
16:00	16:00~ 閉会式
17:00	
18:00	

# プログラム

## 特別講演

### 特別講演

ライブ配信：8月27日(土) 11:00～12:00、オンデマンド配信

座長：野上 達也 (東海大学医学部専門診療学系漢方医学)

#### SL 漢方製剤に配合される生薬の効能についての標準化案の提示

牧野 利明

名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野

## 受賞講演

### 学会賞受賞講演

オンデマンド配信

座長：小野 孝彦 (尼崎永仁会クリニック)

#### がんサポーターブケアへの和漢薬の応用：そのサイエンスとアート

元雄 良治

医療法人社団愛康会小松ソフィア病院腫瘍内科・漢方内科

### 学会奨励賞受賞講演

オンデマンド配信

座長：磯濱 洋一郎 (東京理科大学薬学部応用薬理学研究室)

#### 多彩な効果を持つ五苓散の薬理作用に関する研究

村上 一仁

東京理科大学薬学部応用薬理学研究室

## シンポジウム

### シンポジウム 1

ライブ配信：8月27日(土) 9:20～10:50、オンデマンド配信

オーガナイザー：磯濱 洋一郎 (東京理科大学薬学部)

早川 芳弘 (富山大学和漢医薬学総合研究所)

#### 和漢薬による免疫調節

##### S1-01 和漢薬による抗腫瘍免疫応答の調節

早川 芳弘

富山大学和漢医薬学総合研究所

##### S1-02 白朮配合補中益気湯の消化管免疫系調節作用

○遠藤 真理<sup>1,2</sup>、永井 隆之<sup>1,2</sup>、清原 寛章<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北里大学東洋医学総合研究所、<sup>2</sup>北里大学大村智記念研究所

##### S1-03 肥満における和漢薬や食品成分による腸内細菌叢を介したインスリン抵抗性改善作用

○藤坂 志帆、戸邊 一之

富山大学学術研究部医学系第一内科

## S1-04 人参養栄湯及び十全大補湯の腫瘍免疫活性化作用と骨髄由来免疫抑制細胞 (MDSC)

磯濱 洋一郎

東京理科大学薬学部

## シンポジウム2

ライブ配信：8月28日(日) 13:00～16:00、オンデマンド配信

オーガナイザー：高山 真 (東北大学病院総合地域医療教育支援部 (総合診療科・漢方内科))

並木 隆雄 (千葉大学大学院医学研究院和漢診療学)

はじめに：伊藤 隆 (医療法人社団ひのき会証クリニック)

ビデオメッセージ：忽那 賢志 (大阪大学大学院医学系研究科感染制御医学講座)

### 新型コロナウイルス感染症における漢方の応用

#### -薬理、臨床、研究、経済の観点から-

#### S2-01 柴葛解肌湯の薬理学的効果 —ウイルス感染症・気道炎症に対するエビデンス—

有田 龍太郎

東北大学病院総合地域医療教育支援部・漢方内科

#### S2-02 補中益気湯の基礎薬理試験に関するレビュー

牧野 利明

名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野

#### S2-03 日本東洋医学会主導臨床試験—COVID-19の予防薬としての漢方薬の臨床研究 (IMJEDI study-P1 study)

○並木 隆雄、運営委員会特別ワーキンググループ\*、IMJEDI study-P1 group

千葉大学大学院医学研究院和漢診療学

#### S2-04 新型コロナウイルス感染症罹患後症状 (コロナ後遺症) に対する漢方薬治療の実態調査

小田口 浩

北里大学東洋医学総合研究所、北里大学医学部、北里大学大学院医療系研究科

#### S2-05 COVID-19急性期治療について

入江 康仁

秋田大学医学部附属病院救急・集中治療医学講座

#### S2-06 集中治療を要した重症 COVID-19 治療における漢方製剤の有効性

青松 直撥

青松記念病院外科、大阪市立総合医療センター

#### S2-07 COVID-19 に対する急性期漢方治療の臨床研究

○高山 真、運営委員会特別ワーキンググループ\*、

IMJEDI study-Observation group\*\*、IMJEDI study-RCT group\*\*\*

東北大学病院総合地域医療教育支援部 (総合診療科・漢方内科)

\*、\*\*、\*\*\*については、40以上の施設があり大変申し訳ございませんが発表の際に掲示いたします。

#### S2-08 医薬品における費用対効果評価の現状と課題 —感染症を中心に—

赤瀬 朋秀

日本経済大学大学院経営学研究科

Coordinator : **Shin Takayama** (Department of Education and Support for Regional Medicine, Tohoku University Hospital, Japan)

Chair : **Shin Takayama** (Department of Education and Support for Regional Medicine, Tohoku University Hospital, Japan)

**Takao Namiki** (Department of Japanese-Oriental (Kampo) Medicine, Graduate School of Medicine, Chiba University, Japan)

### **Kampo Medicine for COVID-19 Prevention, Treatment, and Recovery in Clinical and Pharmacological Aspects**

#### **SS-01 Introduction to Japan Society for Oriental Medicine-led Clinical Research Projects on COVID-19**

**Takashi Ito**

President of The Japanese Society for Oriental Medicine, Japan

#### **SS-02 Pharmacological aspect of Kampo Medicines in the Prevention for COVID-19**

**Toshiaki Makino**

Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya City University, Japan

#### **SS-03 Pharmacological aspect of Kampo Medicines in the Treatment for COVID-19 Kakkonto, shosaikoto, Platycodon grandiflorum root, and Gypsum (a Japanese Original Combination Drug as saikatsugekito) :A pharmacological Review Against Viral Infections and Respiratory Inflammatory Conditions and a Discussion of Application to COVID-19**

**Ryutaro Arita**

Department of Education and Support for Regional Medicine, Tohoku University Hospital, Japan

#### **SS-04 Clinical Trial of Kampo Medicines for the Prevention of COVID-19**

**Takao Namiki, IMJEDI study- prophylaxis group**

Department of Japanese-Oriental (Kampo) Medicine, Graduate School of Medicine, Chiba University, Japan

#### **SS-05 Survey on the Efficacy and Safety of Kampo Treatment in Patients with COVID-19 Related Sequelae**

**Hiroshi Odaguchi**

Oriental Medicine Research Center, Kitasato University, Japan

#### **SS-06 Clinical Trials of COVID-19 Treatment**

**Conventional and Kampo medicine treatment for mild-to-moderate COVID-19 patients: A multicenter, retrospective, observational study**

**A multicenter, randomized controlled trial on the use of Kampo medicine, kakkonto with shosaikotokakikyosekko, in mild-to-moderate COVID-19 patients (a part of the study result)**

**Shin Takayama and Integrative Management in Japan for Epidemic Disease (IMJEDI) study group**

Department of Education and Support for Regional Medicine, Tohoku University Hospital, Japan

[English Session]

## 次世代を担う若手研究者の会シンポジウム

次世代を担う若手研究者の会シンポジウム ライブ配信：8月28日(日) 9:20～10:50、オンデマンド配信

オーガナイザー：今 理紗子（星薬科大学生体分子薬理学研究室）  
伊藤 直樹（北里大学東洋医学総合研究所）

ポスト・コロナ時代を超克する若手研究者の力

YS-01 がん治療薬のシース化合物の探索研究～ステロイド系化合物を中心に～

○松尾 侑希子、三巻 祥浩  
東京薬科大学薬学部医療衛生薬学科

YS-02 食品と薬の視点から見た和漢薬

小池 佑果  
昭和大学薬学部臨床薬学講座天然医薬治療学部門

YS-03 機械学習を用いた漢方専門医の証診断の予測

前田 絢子  
東京理科大学薬学部薬学科

## スポンサード・セミナー

スポンサード・セミナー

ライブ配信：8月28日(日) 11:00～12:00

座長：鈴木 朋子（埼玉医科大学医学部総合診療内科）

ST 呼吸器領域における漢方の役割  
～麦門冬湯と補中益気湯を中心に～

濱田 泰伸  
広島大学大学院医系科学研究科生体機能解析制御科学

共催：株式会社ツムラ

## スポンサード・シンポジウム

スポンサード・シンポジウム

ライブ配信：8月27日(土) 13:00～15:00、オンデマンド配信

オーガナイザー：磯濱 洋一郎（東京理科大学薬学部応用薬理学研究室）

SK-01 サルコペニア、フレイル、セデンタリー行動：COPDの新たな治療標的  
～人参養栄湯の可能性～

浅井 一久  
大阪公立大学大学院医学研究科呼吸器内科学

SK-02 がん悪液質に対する人参養栄湯の影響

大澤 匡弘  
名古屋市立大学大学院薬学研究科神経薬理学分野

共催：クラシエ薬品株式会社

座長：矢久保 修嗣（明治薬科大学臨床漢方研究室）

シルクロードのくすりを語る

CL-01 シルクロードにロマンをかたる  
～正倉院はシルクロードの終点である～

奥山 徹

明治薬科大学名誉教授

CL-02 くすりの道・シルクロードと世界の医学

馬場 正樹

明治薬科大学臨床漢方研究室



第39回和漢医薬学会学術大会 優秀発表賞受賞者

演題番号	筆頭演者	筆頭演者の所属機関名	演題名
O-08★	内山 京香	名古屋市立大学薬学部	抑肝散と抑肝散加陳皮半夏各エキスのGABA <sub>A</sub> 受容体結合活性の比較
O-21★	村上 一仁	東京理科大学 薬学部	五苓散による臓器選択的抗炎症作用とその機序
O-33★	山崎 紘子	佐藤製薬株式会社創薬研究部ライフスタイル研究課	ゲンノショウコエキスによるグランザイムB阻害を介したフィブロネクチン、エラスチンの保護作用
O-35★	楊 熙蒙	富山大学 和漢医薬学総合研究所 神経機能学領域	Matureニューロンの軸索伸長活性がdiosgeninによって高まる分子機構の解明
O-38★	長谷川 景太	クラシエ製薬株式会社 漢方研究所	芍薬甘草附子湯はUCP1を介する熱産生経路を活性化し、加齢性の体温保持能の低下を改善する
O-44★	迫田 凌太	名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野	ヒトにおける甘草の副作用の発症を予測できる背景因子の探索